

令和6年4月11日（木）  
午後2時から午後4時まで  
教育センター2階 第二中研修室

令和6年度第1回みたか環境活動推進会議 議事録（要旨）

<参加者>

中島会長、大谷内副会長、岡村委員、大平委員、藤田委員、藤沢委員、石原委員、林委員、並河委員、石井委員、事務局

<傍聴人>

0人

<次第>

- 1 会長挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 事務局より事務連絡
- 5 議題
  - (1) ニュースレター「みたか環境ひろば」について
  - (2) 環境講座の実施報告
  - (3) 6月のイベントについて
  - (4) （仮称）みたか地球温暖化対策アクションプランについて
  - (5) その他
- 6 次回会議の日程について
- 7 閉会

<議事内容（要旨）>

- 1 開会（会長挨拶）
- 2 委員自己紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 事務局より事務連絡
  - (1) 委員出席状況報告  
委員定数15名のうち10名が出席していることを報告した。
  - (2) 傍聴希望者報告  
傍聴希望者なし
  - (3) 会議録公開報告  
議事録については委員の承認を得て、公開していることを報告した。
- 5 議題
  - (1) ニュースレター「みたか環境ひろば」について  
岡村委員より、令和6年4月号として、第87号を発行した旨の報告があった。次回第88号（7

月発行予定)の担当委員(岡村委員、藤田委員、大谷内委員、並河委員)と原稿期限を確認した。

また、第87号について、委員より、オモテ面にクロスワードパズルがあるため、手に取りやすく、とても良いとの意見が述べられた。

## (2) 環境講座の実施報告

環境講座について、石原委員より実施報告があった。参加者は講座内容に対して非常に興味を持っており、熱心に受講していて良い講座となったことや、「エコまど」について初めて知ることができた旨を共有した。

また、委員より次のような感想、反省点や提案が述べられた。参加できなかった方から「またやっていただきたい」との声があったため、相談窓口があると良いと思った。自宅の窓を断熱リフォームした結果、効果があった。太陽光パネルはマンションの規定により難しい場所があると感じた。技術が進歩しているのでどんどん情報を得ていくことが大事だと思う。各コミュニティセンターでも同様の講座を開催できたら面白いと思う。ベランダ発電を購入した方がおり、スマホとテレビの電気を朝利用しているそうだ。

## (3) 6月のイベントについて

事務局より、イベントの日程と内容の説明があった。それを踏まえて委員より次の意見が述べられた。講座の中で庭先直売所の案内をしたらどうか。同日同時時間帯で市民緑化推進委員会主催の花のまち交流会がさんさん館で行われる予定であり、分野が近しいため、日時をずらした方が良いのではないか(事務局にて検討し調整する)。ヘチマの苗を育て、それを配るのはどうか(事務局にて確認する)。並河委員が宇宙アサガオの種を入手できるため、講座当日に2〜3粒ずつ配布するのはどうか。大谷内委員が当日ヘチマたわしを持参し、活用法を紹介するのはどうか。また、今回配布する苗からヘチマが採れたら、ふじみまつりで展示できるとよい。

講座のタイトルにCO2削減という言葉も入れたいという意見や、事務局より、温暖化を意識していない層に興味を持って頂けるタイトルも良いのではとの意見が述べられ、後日委員から寄せられるタイトル案から決めることとなった。

## (4) (仮称)みたか地球温暖化対策アクションプランについて

事務局より、内容及び進め方の詳細と実行委員を決める旨の説明があった。また、藤田委員より進め方の提案内容の説明があり、マチコエや市民大学などで集めたアンケート結果や、検討メンバーにみたか環境活動推進会議委員だけでなく、マチコエなどのメンバーも入れて話し合えば横のつながりも生まれるのではないか、との意見が述べられた。

委員より次の意見が述べられた。三鷹市のゼロカーボンシティ宣言をアピールする良い機会なのではないか。対象を「市民・事業者」と広くするよりも「市民対象」と明示した方が良いのではないか。デコ活のwebサイトに載っている「うちエコ診断」ツールを使うと自分の家庭での省エネ状況が分かるため載せたら良い。

事務局より次のような補足説明があった。市民一人ひとりが、「自分にできること」を知るといふ目線が良いと考え、冊子ではなく見開きのリーフレットのような簡単なものが望ましい。委員の皆さんがなにげなく取り組んでいる小さい工夫や裏技を集めるだけでもすごく面白く、それを知ることによって市民の意識が変わってくるのではないかと。世の中にある既存のハンドブックからもう一段かみ砕いたようなものが良いのではないかと。進める際は、委員が中心となるよう工夫する。

委員より次の意見が述べられた。マチコエなどへはどのような形で連絡をとるのか。任期の2年間終わってほっとしているのではないだろうか。今回のアクションプラン作成とはまた別の機会、横の繋がりを設けるということで考えたらよいのではないかと。

実行委員には岡村委員、藤田委員、大谷内委員、並河委員、阪中委員（後日、参加の確認を実施）が立候補した。

(5) その他

第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画（第1次改定）が発行され、市ホームページに掲載されていることが事務局より共有された。

6 次回会議の日程について

次回の全体会議は、令和6年7月中旬を予定しており、改めて日程調整を行う。

7 閉会（副会長挨拶）